



# 埼玉いのちの電話

ひとりで悩まずに…

発行人：川端 純夫 編集：広報委員会  
発行所：社会福祉法人 埼玉いのちの電話  
〒337-8692 大宮郵便局私書箱第 29 号  
電 話：048-645-4322  
FAX：048-645-4355  
<http://www.saitama-id.or.jp/>

相談電話

**048-645-4343** (24 時間 365 日)

**0120-783-556** (毎月10日午前8時から24時間)

フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」

インターネット相談

埼玉いのちの電話

検索

**特集** あふれでたのはやさしさだった  
～人は人の輪の中で育つ～



旧奈良監獄(奈良少年刑務所)正門

この広報誌は、赤い羽根共同募金の  
助成を受けて発行しています。



写真は1908年(明治41年)竣工の旧奈良監獄正門(奈良市般若寺町)。1946年に奈良少年刑務所と改称され、年齢が若いなど更生の見込みが大きいと考えられる者を中心に収容し矯正指導も行われた。2017年3月、老朽化などのために閉鎖されたが、赤煉瓦の秀麗な建物は重要文化財として保存が決定している。

## あふれでたのは、やさしさだった

～人は人の輪の中で育つ～

寮 美千子 氏

こんにちは、寮美千子です。今日はいのちの電話という大切なことをしている皆さま方と、それからいのちの電話のチラシなどを見て来て下さった多くの皆さまにここに集まっただき、本当にありがとうございます。奈良に住んでいるので関東に来るチャンスも多くないので、このように呼んでいただけることは本当にありがたく思っています。

私は1955年(昭和30年)に東京で生まれました。小学校と高校卒業までは千葉で過ごし、その後東京とか神奈川とか、いわゆる首都圏で暮らしてきました。1986年に童話を書いてデビューして以来作家をしています。子供が主人公の小説を多く書いていたのですが、大人の女性を主人公にした「楽園の鳥 - カルカッタ幻想曲 -」という長編小説で泉鏡花文学賞をいただきました。2005年のことです。その時ちょうど50歳だったのですが、これを期に首都圏から脱出してみようと、翌年思い切って引っ越した先が奈良でした。

奈良には古いものだけでなく、なんでも明治の名レンガ建築があるよという話を聞いて、なにそれ？ 刑務所だった。これは行ってみなくちゃと、行って見たのが奈良少年刑務所でした。

門の前まで行ったけど中に入れない。どうしたら見られるかと思って聞いたら、2ヵ月後に矯正展という刑務所で作った色々な製品を売る会がありますと、そこでお祭りみたいないろいろ屋台も出たりして、刑務所の建物の外側だけをぐるっとまわるツアーも申し込めば見られますよ、と言われて心待ちにして行きました。

そこでももちろん建物にもびっくりしたんですが、受刑者の作品を見て驚いたんです。水彩画がありました。非常に繊細な水彩画で、刑務所のレンガの1枚1枚まで全部几帳面に描いてあるんです。そして詩とか俳句とか色々あってそれもまた心にしみるものがたくさんありました。

私は刑務所に入るような人は怖い人って漠然と思っていたのです。狂暴とか凶悪とかいう言葉が似合うイメージがあったのに、全然違うイメージのものが並んでいるわけです。どうしたことなのかと思ったら、そこにいた刑務所の教育官が話しかけてくれたんです。「みなさんそのように誤



解なさっていますけども違うんです。実はうちに来ている子の多くはおとなしい。すごくおとなしくて人と口をきくのも苦手なような子が多いんです」と仰いました。そうなんだあと思って、詩は書くだけでなく声に出して読むといいですよと申し上げました。「せっかく書いたんだから書いた人が読むような機会があるといいなと思います。もし何かお力になれることがあれば何なりとおっしゃって下さい。奈良に引っ越してきたばかりの作家です」と言って名刺を渡しました。

その名刺がここにいる原因になったのです。10ヶ月後にいきなり電話があって、「新しい授業をはじめることになったので、ぜひ寮さんには童話とか詩とか絵本の講師をしてくれないか」と仰るんです。「一度刑務所にいらして下さい」お願いしますと言われた時ピコーンと電気がついた。こないだ外側からしか見られなかった建物の中に入れてもらえるぞ、これは行かなくちゃいけない。すいません夫と一緒にいっていいでしょうか。どうぞどうぞというわけで2人で行きました。中を見ました。素晴らしい建物です。

そこで女性で初めて奈良少年刑務所のキャリア組になった細水令子さんという教育統括がいて話をして下さいました。「実はここにきている子は、こう言ったら被害者の方には申し訳ないんだけど、加害者になる前に被害者であったようなそんな暮らしをしてきた子ばかりなんです。彼らは正しい愛情を受けたことがない。だから一番守ってくれるはずの親から激しい攻撃を受けたりするものだから辛くてたまらないんです。そういうものに直面したら、感じないように心の扉を閉ざします。心の扉を閉めたら『うれしい、

楽しい』の感情も入ってこなくなってしまう。彼らのその心の風景は凍り付いた荒野にひとりでポツンと立っているようなそういう心の景色をしているんです。だから情緒が育っていない。そして情緒が育っていないから、自分の気持ちも分からない人間に、他人の気持ちを思いやれなんて言っても無理、できない。だから犯罪は可能。そんな子たちだから情緒を育ててやってほしい。寮さんには絵本や童話や詩を使って彼らの情緒を育ててあげてほしいんです」と言われました。それって無理。だって人を殺すところまでこじれてしまった人の気持ちを、絵本ですか童話ですか、そんなヤワなもので何となるもんでしょうかと、自分が絵本とか書いているのに思っていました。

うちの授業は丸く机を並べて 10 人受刑者を呼んできて、間に教官が 2 人以上、私と夫が入って授業をします。この 10 人はどうやって選ぶか、もう選りすぐりのベスト 10 がやってきます。コミュニケーション能力に著しく欠けて話ができない。やることのろかったり間違えたりする。そうやってその子 1 人のために全体の雰囲気が悪くなるような、そういう子を選んでうちの教室に連れてきます。

この絵本はアイヌのお父さんと子どもの対話です。小さな狼の子が走ってきて、氷の上でつるんと転んでしまった。「ねえ どうしてこるんだの」、と子どもが聞きます。そうするとお父さんが「それはね こおりが えらいからだよ。おおかみよりも ずうっとね」「でも こおりは とけちゃうよ。ねえ どうして」「それはね おひさまが えらいからだよ。こおりよりも ずうっとね」… とお父さん



がずうっとお話をしてくれるというものなんです。まず私が読んで、それからみんなで読んで、ためしにこっちはお父さん読んでね、こっちは子ども読んでね、みたいにしてください。

それが終わったらじゃあ机をかたしてと言って、前に立ってお父さん役と子ども役で読んでくださいとお願いするんです。教室でほとんど発言したことがないような子たちがいきなり主役 2 人で目の前で、朗読劇みたいなことをしなくちゃいけないわけですね。それは緊張するんですよ。最初はなだめたりすかしたりしてともかく前に立ってもらう。そしてもう本当に一生懸命になって読むんですね。それで最後まで何とか行きつくと、あ〜良かった、終わった、ちゃんと最後まで行ったね、良かったねって盛大な拍手が起こるんです。

その最初の授業のその 1 時間目のその朗読の後に、いきなり変化が訪れました。前に立っている子が、あれ何が起こったんだろうという顔になるんですよ。人から拍手なんかももらったことがないんですね。「え〜、拍手もらっちゃった」みたいな感じで、感想を聞くと緊張したとか言うんですけど、「読めてよかったです、拍手もらって良かったです」と話すんですね。一時間半経つと、次誰やりますか？ はい！出てきて。さっきまで全然こういうのなかったのにどうなっているの？ 君今やったばかりだよねと言うと、「先生僕まだお父さんの役をやっていませんから」あ〜、信じられない。たった 1 時間半でこんな変わるかっていうくらい変わります。

「できません」という子を無理にやらせちゃいけないんですね。ある時できませんという子がいたら、教官がすかさず、「そうか、いいよいいよやらなくていいよ、でもやりたくなったらいつでも言ってきてね」と言ったんです。そしてその子は終わってから教官の所に行って、「僕ね、生まれて初めて信用のできる大人に会いました。今まで無理です、できませんと言っても何言ってんだよ、みんなやってるんだからちゃんとみんなやらなければ駄目じゃないかと叱られたり、大丈夫、大丈夫君ならできるから頑張ってやってもらんと励まされたりしてすごく辛かったです」と言ったそうです。励ましも時に人に辛いことがあるんですね。準

## 地域発展のエネルギー



武州  ガス

川越市田町32-12

TEL (049) 241-9000

武州でんき

武州ひかり

備のできていない子に無理にがんばれと言ってもいけないんです。

この先生はある時ある受刑者にこう言われたそうです。「僕が穴の底に落ち込んでいるとき、ある先生は穴の上から手を持って引っ張り上げようとしてくれました。ある先生は穴の底に降りてきて僕のお尻を押し上げてくれました。でも先生は違いました。先生は穴の底に降りてきて僕の隣に黙って座ってくれました」寄り添うということはそういうことなんだなと本当に思いました。

先生が必ず、「この教室では点をつけません。だからこれで仮釈放が早くなるとか、全然関係ありません。この教室の目的は、君たちが社会に戻ったときにコミュニケーションの出来る人になってほしいということです」と伝えます。『社会性涵養プログラム』、涵養というのは水が染みこむようにじわじわと育てるという意味ですけど、「人格を涵養する、そういう授業なんだよ。刑務所生活は厳しいから、せめてこの教室に来たときくらいは君たちにほっとして欲しいと先生たちは思っているんだよ。ああ、いい時間だったな、リラックスできたな、そう思って欲しいんだ」ときちんと言えます。

そのために彼らに指導はしません。教室が進めば進むほど指導というようなものは全くなくなりました。彼らは安心してます。この教室では点をつけられない、なにを言ってもなにをしても大丈夫なんだ、そういうふうにしてほっとします。そうすると力を発揮することができる。人との共同作業ができるようになる。みんなすごく和やかになって、仲間感が高くなるんです。この人たちにならちょっとくらい自分の心を明かしてもいいかな、と思い始めたところでよいよ詩の教室を始めます。

限られた時間しかないから3回目からいきなり彼らに作品を書いてもらうことにしました。それでも全然オッケーでした。こんな詩を書いてきてくれた子がいるんです。タイトルは『くも』。空に浮かぶ雲のことです。一行だけの詩でした。本のタイトルにもさせてもらいました。

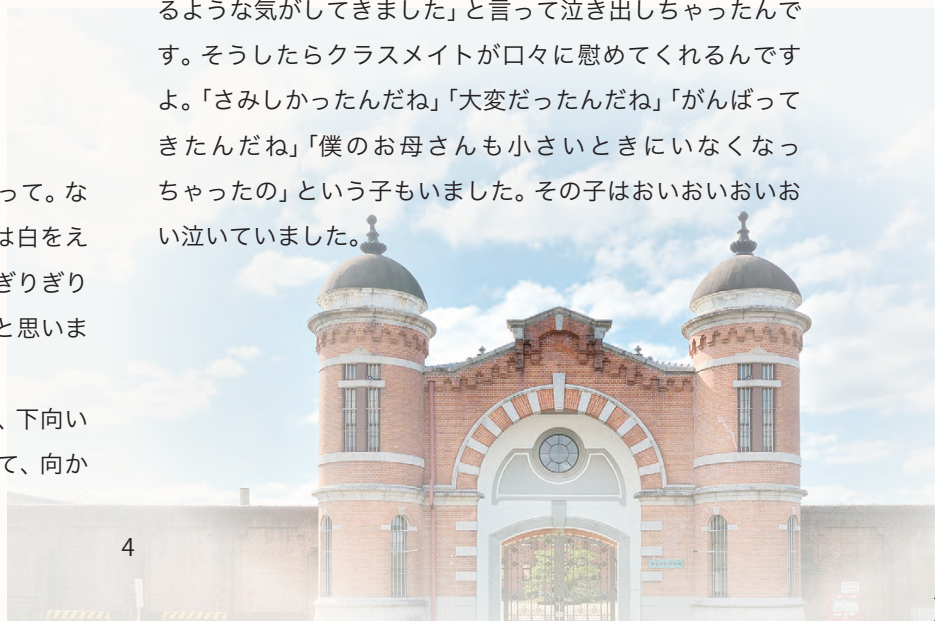
空が青いから白をえらんだのです

最初に見たときにびっくりしました。わ、すごいって。なんか省略しきっている。空が青いから、わたくし雲は白をえらんで空に浮かんでいますよというようなことを、ぎりぎり少ない言葉で書いて、ポエティックですごく素敵だと思いました。

読んでくださいと言ったら、自信がないんですね、下向いちゃって、早口で読んじゃうんですよ。「顔を上げて、向か

いのお友達によーく聞こえるようにゆっくり読んであげてくれない」とお願いしました。そうしたら彼は一生懸命頑張って、顔を上げて読んでくれたんです。「空が青いから白をえらびました」「聞こえた、よかった。よかったね」とみんなが拍手をしてくれました。そうしたら、詩を書いた子が「先生」と言ったんです。「どうしたの?」と言ったら、「僕、話したいことがあるんですけど、いいですか?」と自分から言い出したんです。びっくりして、「どうぞ、どうぞ話してください」と言いました。最初の一言は忘れられません。「僕のお母さんは今年で七回忌です」と言いました。その後の話を要約すると、僕のお母さんは今年で七回忌です。お母さんは体がとても弱かった。けれどもお父さんはいつもお母さんを殴っていました。そのころ僕はまだ小さかったのでお母さんを守ってあげることができませんでした。お母さんは病院で最後にこう言ってくれました。「辛くなったら空を見てね、私はきっとそこにいるから」僕はお母さんのことを思った。お母さんの気持ちになってこの詩を書いてみました。空が青いから白を選んだのです。あなたから見えるように、あなたがよく分かるように、青空によく映えるまっ白な雲になって私は浮かんでいますよ、という気持ちがそこに書いてあったんです。

びっくりして声も出ないでいると、感想を聞く前にクラスメイトが、はい、はいと手を挙げるんです。どうぞと言ったら、「はい。僕は〇〇君がこの詩を書いただけで親孝行だったと思います」と言ってくれるんです。こんな優しい詩を書いて親孝行できたよ、お母さんにきっと通じてるよ、供養できてるよ、みたいなことを言ってくれる子が恐ろしい殺人の罪だったりするわけです。また手を挙げました。「僕は〇〇君のお母さんは雲みたいにまっ白で清らかな人だったんじゃないかと思います」そうしたら、ふだんまっ暗な顔をして下を向いて全然声の出ない子が、思い切って「はい!」と手を挙げたんですよ。どうぞと言ったらやっぱり声が出ないのね。がんばって待っていたら声が出ました。「僕はお母さんを知りません。でも僕も、空を見上げたらお母さんに会えるような気がしてきました」と言って泣き出しちゃったんです。そうしたらクラスメイトが口々に慰めてくれるんですよ。「さみしかったんだね」「大変だったんだね」「がんばってきたんだね」「僕のお母さんも小さいときにいなくなっちゃったの」という子もいました。その子はおいおいおいおい泣いていました。



この子は実は刑務所に入ってから自分の罪の重さに正面から向き合っちゃったせいで、あまりにもショックを受けて自殺未遂を何度も繰り返していた子だったそうです。お母さんのいないさみしさを教室で生まれて初めてみんなの前で告白できたんだと思うんです。そのときから彼の自傷行為はびたりと止まったそうです。

彼らを見ていて私は、人は人の輪の中で育っていくんだなと思いました。これはある教諭師の先生、大ベテランで私も尊敬している素晴らしい先生です。本当にもう相手の目線まで一生懸命下りていって話ししようとしてくださる方なんですが、この方が私に「寮さん、寮さん、僕もう2年にわたって2週に一度2時間ずつ面談してる子が少しも様子が変わらないんだよ。どうしてあなたの教室はそんなにみんな様子変わるの？すごい評判なんだけど」と言われました。そのときに気がついたんです。あ！一対一じゃないからだ、グループワークだからだ。私たちが指導してるんじゃないからだ。いくら私たちが彼らの目線と同じところに下りようとしたって、彼らから見たらこっちは立派な人なんですよ。なかなか対等になれない。でも友だちは対等じゃないですか。みんな何かとんでもない事しかしてここまで落ちてきちゃった、人生最悪のところに来ちゃったなあ、俺たちダメだあって思ってる子たちなわけです。その子たちが仲間だと思ってお互い頑張ろうなって、なんとかしたいよなって慰め合ったときに本当に素晴らしい教室になっていて、もう本当に何度泣かされたか分かりません、私は教室で。

やまゆり園事件のこともありましたけれども、本当に生きていっただけで価値があるということをおもひながら認められる社会になってほしいと私は思います。

最後にお母さんについて書いてある詩を一つ読ませていただきます。

こんなボク

こんな未来を ボクは望んだらうか  
こんな未来を ボクは想像もできなかった  
こんなボクの どこを愛せるの？  
なぜ そんなにやさしい眼で見れるの？  
「だいじょうぶ まだやり直せるよ」って言えるの？  
こんなボクなのに……  
こんなボクなのに ありがとう おかあさん

みんながこのお母さんのような気持ちで、間違いを犯した人を優しい眼差しで見てくださったら、ひとりでも理解者がいたら、理解してくれる人がいる世界なんだと彼らに感じさせていただけたら、犯罪は少なくなると思います。よろしくお祈りします。どうもありがとうございました。  
(録音から抜粋・編集しました)



**Honda woods saitama**  
Vibrant forests for our children, for our communities.  
元気な森を次世代のために、地域のために。 写真：埼玉製作所 狭山工場

**夢のある明日の社会づくりをめざして**  
Hondaは、地域の人々や自然との共生を目指し、積極的に森の手入れを行い、生命が循環する若々しく個性あふれる森を育てています。

**HONDA**  
The Power of Dreams

～私たちは心の通う魅力ある地域コミュニティづくりに取り組みます～

**(株)大和不動産**  
さいたま市浦和区高砂1-2-1  
イーベックスタワー浦和オフィス西館1F  
TEL: 048 (824) 1161

<http://www.home.co.jp/>



## — あゆみ —



2020年

- 1月11日 日公開講演会（埼玉会館）  
寮美千子氏（作家・詩人）  
「あふれたのは やさしさだった  
～人は人の輪の中で育つ～」
- 2月3日 第84回後援会理事会
- 15日 ネット相談講演会  
阿部 泰尚 氏（NPO法人ユース・ガーディアン代表）  
「いじめについて いじめ探偵から見たいじめの実態と対応」
- 3月14日 30期生講義「精神障害1」
- 15日 第25回チャリティ映画会（大宮ソニックシティ 小ホール）  
「幸せなひとりぼっち」/バザー開催
- 19日 第76回理事会
- 25日 第62回評議員会

## 公開講演会

池上 彰 氏（いけがみ あきら）

### 人生の道は困難ばかり

- 2020年4月18日（土）  
開場 13:30 開演 14:00
- 会場 大宮ソニックシティ  
小ホール
- 参加費 無料 要予約  
予約開始2月3日（月）

※手話通訳がつきます



詳細は埼玉ののちの電話ホームページをご覧ください。

お問合せ：埼玉ののちの電話事務局 ☎ 048-645-4322  
(月～金 10:00～17:00)

## あなたのご支援を必要としています

いのちの電話の活動は、多くのボランティアの無償の奉仕によって支えられています。

この活動をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

### 振込先

郵便振替 00140-9-137380

加入者名：社会福祉法人埼玉いのちの電話

ゆうちょ銀行自動引き落としの方法もあります。詳しくは事務局にお問い合わせ下さい。

埼玉りそな銀行大宮支店（普通）4315510

口座名：社会福祉法人埼玉いのちの電話

### インターネットから

インターネットからも寄付ができます。  
埼玉いのちの電話のHP、または右の  
QRコードから



埼玉いのちの電話 検索

<http://saitama-id.or.jp/>

ご寄付いただいた方へは、事業報告や広報誌の他、様々な催し物のご案内などをお送りしております。埼玉いのちの電話は寄付金控除の指定を受けている社会福祉法人です。ご寄付は税法上の優遇措置があります。

### 編集後記

今号は寮美千子さんの講演を掲載しました。少年刑務所に収監されている少年たちが社会性涵養プログラムを通して変貌していく様子が紹介されています。その教室では点数をつけられない、誰からも否定されない、待ってもらえる。少年たちにとって人生で初めてかもしれない“安心安全な場所”を体験するのです。すると、受けとめてもらえたと感じた瞬間から少年たちは変わります。どの少年も残らず変わっていったのだそうです。罪を犯すに至るまでの少年たちの日々を想像すると切なくなります。

電話ボランティアとして寄り添うとは何だろう。私たちは何を求められているのだろう。改めて考えさせられました。(H.M)

## - 共に生き、共に育つ -

高度で信頼性の高い情報サービスを提供し、  
顧客第一主義に徹します。  
人皆それぞれに必ず長所があることを認め合います。  
互いの弱さをカバーしあい共生し共に育ちます。

**NCS** 埼玉で創業 50 年、お客様と共に

ノグチコンピュータサービス株式会社

埼玉県さいたま市中央区下落合 1085-15

048(824)1099 (代表) <http://www.ncsnet.jp>



医療法人社団 **群羊会**  
<http://minamifukuin.org>

優しく丁寧な診療 大切にしたい命のひとりを

耳鼻咽喉科

内科・小児科

福音診療所

南福音診療所

TEL048(592)2862

TEL048(591)7191

これからの  
暮らしを、  
もっと  
楽しもう。



住まい価値創造企業

**POLUS**  
ポラスグループ

ポラスのオールリフォーム 検索

株式会社 ポラスのリフォーム 埼玉県越谷市瓦葺根3-8-43  
建設業許可：国土交通大臣許可(特-26)第21114号  
一級建築士事務所登録番号：埼玉県知事登録(4)第7799号

※1：ポラスグループリフォーム売上高  
(2019年 リフォーム産業新聞調べ)